

携帯電話で、家族と「こまめに連絡」。情報ハブは「お母さん」。

家族の携帯電話調査 速報

～短縮ダイヤル登録トップは「家族」で96.1%。第1位は「母」～

このたび、博報堂ポケットeライフラボによる「家族の携帯電話調査」の速報がでましたのでご紹介します。この調査はこれまで行った「ケータイメール実態調査」「家族のEライフ調査」（詳細はwww.pocket-e-life.com）に続くもので、2度の調査で明らかになった、家族とケータイの密接な関係について、全国の20～69才の男女500名を対象に、2002年4月中旬に調査を実施、携帯電話通話やメールの内容、相手などについて聞いたものです。

これによると、携帯電話の短縮登録率が最も高いのは「家族」で、そのなかでの登録トップは「お母さん」。また、「子を持つ夫婦間」のコミュニケーションも含め、家庭における情報の中心「お母さん」との間では「カエルコール」や「お願いメール」を中心に、携帯電話を使って「こまめな連絡」を取り合っていることが明らかになりました。

ケータイやインターネットの普及など、今や生活の中にはさまざまなコミュニケーション手段が出現しています。博報堂では、これらの通信手段を用いた生活を「Eライフ」と呼んでいます。今後、家族、友人、ビジネスなどさまざまな面での「Eライフの実態」について引き続き調査する予定です。

<調査結果 トピックス>

- 家族を短縮機能に登録してる人は短縮登録利用者の96.1%。母、配偶者、娘、息子、父の順。
- 「お母さん」への携帯通話は「カエルコール」がトップ。メールなら「お願い・たのメール」
- 「お母さん」から家族へは「お願いコール&メール」がトップ。「お母さん」は頼まれるだけではありません。

ポケットeライフラボとは：www.pocket-e-life.com

いま世界で最もホットな業界であるケータイを、生活者の視点から調査研究していくことを目的に博報堂内で結成されたバーチャル組織。サイト会員もケータイ業界を中心に1500余名を超える。

<本件に関するお問い合わせ>

(株)博報堂	広報室	宮川・寺島	tel 03-5446-6161
			fax 03-5446-6166
	第4スタジオブックラック局	吉川	tel 03-5446-8565

<調査結果>

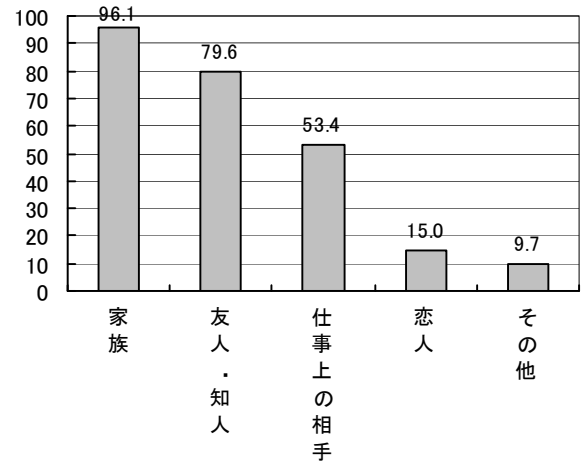
- 調査名：家族と携帯電話調査（インターネット調査）
- 調査実施時期：2002年4月
- 調査対象：全国20-69歳男女500サンプル

- 短縮機能に登録している相手のトップは「家族」で、短縮利用者の96.1%。

「携帯電話の短縮機能を利用している人」は全体の41.2%でした。

そのうち「家族」を短縮機能に登録している人は、もっとも多く、96.1%でした。以下、「友人：79.6%」、「仕事の相手：53.4%」と続きますが、短縮ダイヤル登録を利用している人のほとんどが、家族の誰かをケータイに登録していることがわかりました。

短縮ダイヤル登録者

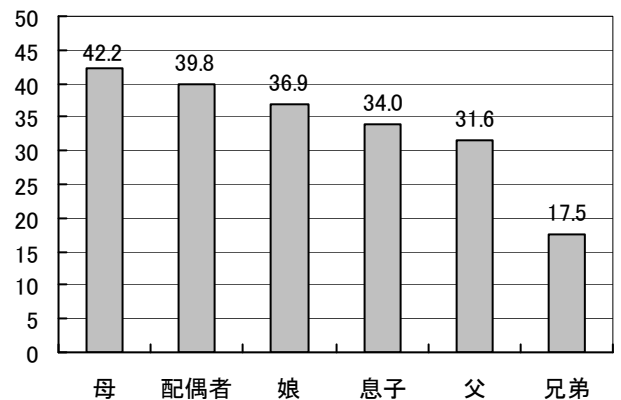


- 登録されている人のトップは「母」（42.2%）。

家族の中の登録されている順位は「母：42.2%」「配偶者：39.8%」「娘：36.9%」の順（%はいずれも短縮ダイヤル登録者ベース）となりました。これを家庭という視点で見ると、2位の「配偶者あて」の中の、「お父さんからお母さんへ：15.0%」も加えると、「家庭の中でのお母さん」に登録している家族は57.2%もいることになります。家庭における「お母さん」は、家族にとって、連絡相手として非常に重要なようです。

また、「父よりも母」「息子よりも娘」の比率が高いなど、家族間ケータイ利用は女性が引っ張っていることがわかります。

短縮ダイヤル登録相手(家族内)

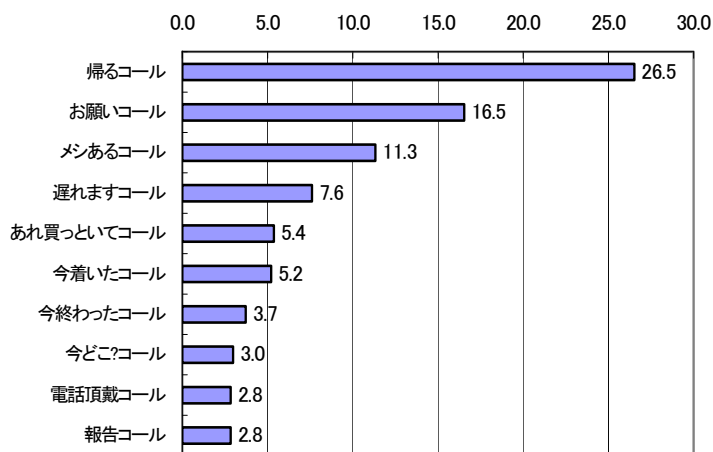


- 家族からお母さんへのケータイ通話、第1位は「カエルコール」。ケータイメールのトップは「お願い・たのメール」

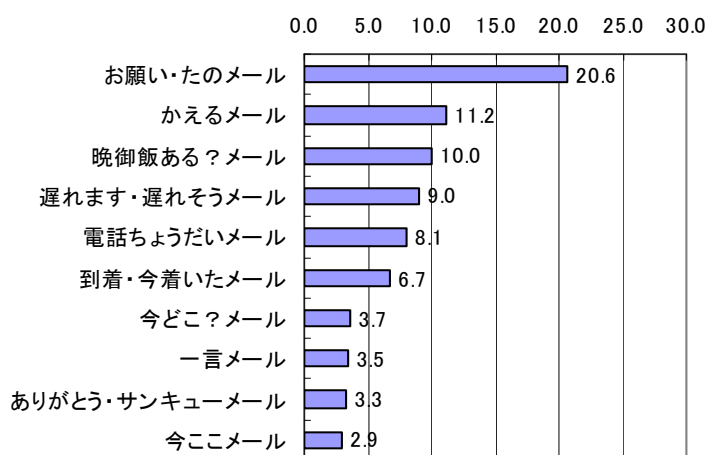
家族の情報の中心である「お母さんあて（母親および子を持つ妻あて）」に「携帯電話を使ってどのような情報を連絡しているか」を「ケータイ通話」「ケータイメール」のそれぞれについて、頻繁に取っている順にベスト3まで選んでもらいました。その結果、ケータイ通話のトップは、「カエルコール：26.5%」で、続いて、「お願いコール：16.5%」「メシあるコール：11.3%」。ケータイメールのトップは、「お願い・たのメール：20.6%」「カエルメール：11.2%」「晩御飯ある？メール：10.0%」で、いずれも「帰宅時に取る連絡」か「お願い事」がお母さんへの連絡内容の上位です。ただ、「通話」では「カエ

ルコール」がトップであるのに対し、「メール」では「お願いメール」が圧倒的に多く、「お願い事はメール」で、「簡単な連絡はケータイ通話」でといった使い分けがされているようです。2001年9月に当ラボで調査した、相手を家族に限定しない場合に良く送るメールは「ありがとうメール」「遅れますメール」「おめでとうメール」という順番でしたが、お母さんが相手の場合は、あいさつぬきで、直接的な「お願いや連絡」が主流になるようです。

家族発お母さんあてコールベスト10



家族発お母さんあてメールベスト10

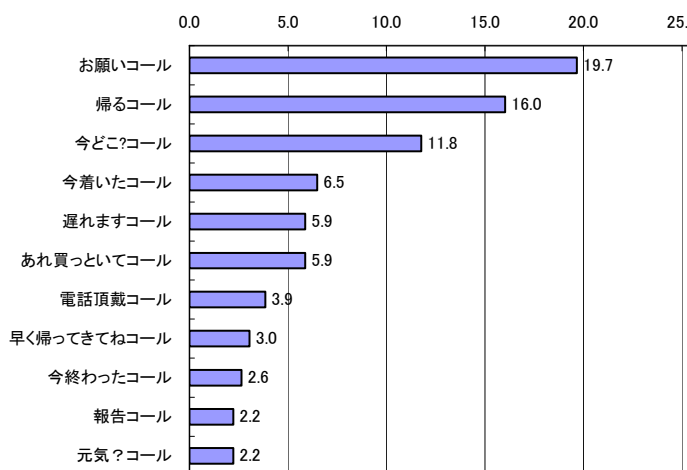


- お母さんから家族への連絡内容も、ケータイ通話、ケータイメールいずれも「お願い」がトップ。

お母さんが家族に対して携帯電話で行う内容を見てみると、ケータイ通話、ケータイメールのいずれも「お願い」がトップになりました（お願い通話：19.7%、お願いメール：18.5%）。「お母さん」は頼まれるだけでなく、メールを使って家族に「お願い」もかなりしているようです。

2位以下は、家族からもらうものとの違いが出ており、通話では「今どこコール：11.8%」、メールでは「電話ちょうだいメール：11.6%」「今どこ?11.4%」など、家族に対して何らかの情報発信を行うための準備行動が多く、情報ハブとしての「お母さん」の役割が明らかになってきています。

お母さんから家族あて 通話ベスト10



お母さんから家族あてメールベスト10

